

魅力ある道徳教育プラン集



山口県教育委員会
平成22年3月

はじめに

平成20年3月、小・中学校において新しい学習指導要領が告示され、これからの教育の在り方についての基本的な考え方や教育課程の枠組、あるいは、具体的な教育内容について示されました。今回の改訂の主な改善事項の一つに、道徳教育の充実があげられており、子どもたちの基本的な倫理観や社会性、規範意識等に係る様々な課題解決に向け、道徳の時間はもとより、教育活動全体を通じた道徳教育の充実が求められているところです。

山口県教育委員会では、平成18年度から4年間にわたる「第2期重点プロジェクト推進計画」において「健やかな心と体育成プロジェクト」を推進しております。これは、道徳教育や体験活動を通して、子どもたちに、「命を大切に作る心」「思いやりの心」「基本的な倫理観・規範意識」等の豊かな心を育む「心の教育」を充実しようとするものです。

このプロジェクトを推進するため、これまで次の2冊の指導事例集を作成・配布し、道徳の時間や校内研修等の様々な機会にご活用いただいております。

○ 体験活動と道徳の時間を相互に関連付けたモデル事例集

「いのち・なかま・やくそくを大切に作る心を育む学習プログラム みんなちがってみんないい」(平成19年3月)

○ 児童生徒の発達段階に応じた指導方法の工夫等を掲載した実践事例集

「道徳授業づくりアイデア集」(平成21年3月)

また、平成19年度からは、「学習プログラム」や魅力的な教材を活用した授業公開をもとに教員の指導力向上をねらいとした「道徳授業セミナー」を県内5会場で開催するとともに、平成21年度には、新学習指導要領の先行実施に対応するため、道徳の主な改善点である「より具体的な全体計画の作成」や「『道徳教育推進教師』の役割」等についても先進的な事例発表をもとにして、協議を深めてまいりました。

本書「魅力ある道徳教育プラン集」は、「道徳教育実践研究事業」の推進校及び先進的な取組をされている学校の実践事例を踏まえて、道徳教育の推進に取り組むプランをまとめたものです。各学校におかれましては、本書を参考にいただき、学校の協力体制を確立して、道徳教育を一層充実していただきますようお願いいたします。

平成22年3月

山口県教育庁義務教育課

課長 中馬好行

目 次

第Ⅰ章	道徳教育を充実するために	1
第Ⅱ章	道徳教育の充実に向けた協力体制を確立するために	2
1	道徳教育の指導計画の作成	3
2	全教育活動における道徳教育の推進	5
3	道徳の時間の充実と指導体制	7
4	道徳用教材の整備・充実・活用	9
5	道徳教育の情報提供や情報交換	11
6	授業の公開など家庭や地域との連携	13
7	道徳教育の研修の充実	15
第Ⅲ章	各学校における特色ある道徳教育の推進	17
資料		23
	～ 道徳教育の全体計画・道徳の時間の年間指導計画の例 ～	

作成協力校

第 I 章 道徳教育を充実するために

平成20年3月の学習指導要領改訂の趣旨を踏まえて、道徳においては平成21年度から全面的に先行して実施することとなり、各学校では、以下のことなどに配慮しながら、道徳教育の一層の充実を図ることが必要です。

- 道徳教育推進のための協力体制を確立すること
- 具体的な道徳教育の全体計画を作成すること
- 新たに示した内容項目を含めて、道徳の時間の年間指導計画を作成すること
- 道徳の時間の指導力の向上に努めること 等

これらの中で、特に、以下の2点については、主な改善点としてとらえ、各種研修会等で周知を図ってきました。

① 道徳教育推進のための協力体制を確立すること

- 校長の方針の下、道徳教育の推進を主に担当する教師（以下「道徳教育推進教師」という。）を中心とした指導体制を充実すること
- 道徳教育推進教師の役割を明確にし、全教員がその体制について共通理解を図ること

② 具体的な道徳教育の全体計画を作成すること

- 各教科等における道徳性の育成に関して「指導の内容及び時期」を含めた計画を作成する必要があること
- ねらいの関連のみを示したこれまでの全体計画に留まらず、別葉にして具体的な計画を付すなど、より使いやすい計画へと改善すること

今後、学校全体で取り組む道徳教育の充実を図る視点から、学校における教育活動の見直しや学校の実態に応じた協力体制の確立等、改善への見通しを明確にして、特色ある道徳教育を進めていくことが大切です。

第Ⅱ章 道德教育の充実に向けた協力体制を確立するために

「平成21年度道德授業セミナー」において、ある中学校から、道德教育推進教師の役割について、次のような先進的な事例の発表がありました。

道德教育推進教師の役割として

- (1) 「行動を起こす」をモットーに
 - 道德教育という視点で学校を見てみよう
 - ・生徒の現状は？
 - ・学校の取組は？
- (2) 学校としてマニフェストを掲げ取り組もう
 - 重点課題を明確に
 - 生徒全員を対象に（担任する生徒だけが対象ではない）
 - 課題解決までの指導体制づくりを 等

先行実施期間である今年度、4月から学校全体で取り組んできた具体的な事例をもとに、その工夫点や今後の改善点について協議を深めることができ、「道德教育推進教師の大切さを理解することができた」という参加された先生方の感想もありました。

さて、第Ⅱ章は、各学校の道德教育の推進を主に担当される先生方等を対象に、県内の先進的な実践事例をもとにまとめたものです。各学校では、児童生徒の実態や学校・地域の特色等に応じて、一層工夫したプランを作成し、実践してください。

なお、学習指導要領に例示されている道德教育推進教師の役割を参考にして、以下の7点から実践事例を整理し、掲載しました。

- 1 道德教育の指導計画の作成
- 2 全教育活動における道德教育の推進
- 3 道德の時間の充実と指導体制
- 4 道德用教材の整備・充実・活用
- 5 道德教育の情報提供や情報交換
- 6 授業の公開など家庭や地域との連携
- 7 道德教育の研修の充実

1 道徳教育の指導計画の作成

各学校においては、校長の方針の下、道徳教育の推進を主に担当する教師（以下「道徳教育推進教師」という。）を中心に、「道徳教育の全体計画」とそれに基づく「道徳の時間の年間指導計画」を作成することが必要です。

これらの計画は、学校における道徳教育の基本方針を具現化するとともに、重点目標を示したり、道徳教育の要としての道徳の時間の位置付けや役割を明確にしたりするなど、重要な意味をもっています。

実践事例 道徳教育の全体計画作成で配慮すること

○ 全教員による共通理解

- ・ 道徳教育の全体計画は学校における道徳教育の基本的な方針を示すとともに、道徳教育の目標を達成するための方策を示した教育計画である。
- ・ 校長の道徳教育の方針に基づき、全教員が全体計画の作成に参加し、その活用を図ることを通して、全校体制で道徳教育を推進する。

○ 学習指導要領の改訂を踏まえた全体計画の作成

学習指導要領の改訂に伴い、従来からの全体計画（[資料1](#)参照）に示すことが望まれていた「各教科等における道徳教育の指導の方針」等に加え、「各教科等における道徳教育にかかわる指導の内容及び時期」等を別葉にして加えるなどして、年間を通して活用しやすいものにする。

新たに求められている全体計画

- ・ 学年ごとに各教科、総合的な学習の時間、特別活動（小学校は、外国語活動も含む）における道徳性の育成にかかわる指導の内容を洗い出し、整理する。（[資料2](#) [資料3](#)参照）

○ 各学校における特色を生かした全体計画の作成

全体計画の作成に当たっては、学校や地域の実態等を踏まえ、各学校における課題を明らかにするとともに、全体計画の様式や記述の方法を工夫し、活用しやすいものにする。

- ・ 「各教科等における道徳教育にかかわる指導の内容及び時期」を月ごとに整理し、ねらいを位置付けた全体計画の例（[資料4](#)参照）
- ・ 全体計画に添付し、学校としての取組を明確に示した「学校として重点的に取り組む基本構想」の例（[資料5](#)参照）

実践事例 道徳教育の全体計画作成のポイント

○ 各学校における特色ある教育活動の見直し

- ・ これまで行ってきた行事や体験活動等を道徳教育の観点から見直す。
- ・ グループ編成の工夫や事前・事後指導の在り方等について検討する。

工夫

これまでの全体計画には、活動内容だけを記述していたが、道徳教育の観点から見直すことにより、「田植え・稲刈り」－「感謝」・「郷土愛」のように内容項目と関連付けて明記するように工夫している。

活動内容

「田植え・稲刈り」



活動内容と内容項目

「田植え・稲刈り」

【「感謝」・「郷土愛」】

○ 全体計画の活用を促す道徳教育推進教師の働きかけ

全体計画を確認したり、修正を加えたりする機会をとらえ、次年度の計画に生かす。

確認する機会

- ・ 月や週の行事予定を確認する時間
- ・ 行事等の実施計画案を検討する時間 等

確認する内容

- ・ 単元等に位置付けた道徳の内容項目
- ・ 体験活動等の実施時期や実施方法 等



特色ある取組 道徳の時間の年間指導計画の工夫

道徳の時間の年間指導計画は、道徳の時間に指導する内容について、学年段階に応じた主題を構成し、年間にわたって適切に配列し、展開の概要等を示したものです。

資料6に示した年間指導計画は、前年度の計画をもとに、改善点について全教員で話し合い、今年度、次の2点を工夫したものです。

- 展開の概要として「学習活動と主な発問」の欄を設けて、道徳の時間の指導に生かすことができる計画にする。また、授業者が工夫したことや授業後の気づきを書き込み、次年度の計画を作成する際に生かす。
- 「教科・特活等における道徳教育にかかわる指導の内容及び時期」の欄を設けて、道徳の時間と教育活動全体とのつながりを明確にするとともに、月ごとに確認して教員の意識化を図ることにより、道徳教育を一層充実させる。

2 全教育活動における道徳教育の推進

学校における道徳教育は、道徳の時間を要とし、各教科、総合的な学習の時間、特別活動等、あらゆる教育活動を通じて、児童生徒一人ひとりの道徳性の育成を図るものであり、発達段階等を踏まえ、指導内容の重点化を図ることが重要です。

また、道徳教育を進めるに当たっては、教員と児童生徒及び児童生徒相互の人間関係を深めるとともに、豊かな体験を通して児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成が図られるように配慮することが大切です。

実践事例 全校体制で指導の重点化を図った取組

- 全教員による児童生徒の実態把握
 - ・ 全教員で児童生徒のよさや課題を付箋紙等に取り込み、共通する内容を整理する。
 - ・ 児童生徒の実態を踏まえ、課題解決の方法について、協議を深める。

○ 「なかまづくりプロジェクト」での取組 **小学校での取組**

課題

仲間と力を合わせて達成感を味わったり、相手に親切にして喜びを分かち合ったりする体験が少ない。

「遊びを通して仲間とコミュニケーションを深める活動の実施」

- ・ 週一度学級全員で活動する「みんな遊び」と、月一度縦割り班活動のメンバーで遊ぶ「なかよしタイム」を継続して実施する。
- ・ 遊びの中で感じた「うれしかったこと」「楽しかったこと」「仲間のよさや感謝の気持ち」等をメッセージとして書き綴る。
- ・ 児童による運営委員会で全校みんなの情報コーナーを設置してメッセージを掲示したり、放送委員会で「スクールときめきメッセージ（昼の放送）」というプログラムを実施したりして、相互交流する機会を設けている。
- ・ 各学級においても、友だちのよさを紹介したり、みんなで活動する楽しさについて話し合ったりする機会をもっている。



実践事例 体験活動を生かした道徳の時間の充実

○ これまで継続してきた行事や体験活動等の見直し

- ・ 地域と一体となって取り組んできた行事や各学校における特色ある体験活動等の内容や実施方法を見直す。
- ・ 道徳教育の全体計画や道徳の時間の年間指導計画と照らし合わせながら、次のような観点から見直すよう共通理解を図る。
 - 行事や体験活動等とその前後の道徳の時間を効果的に関連付けて指導することができるか。
 - 行事や体験活動等の事前・事後指導でどのようなことに心がけているか。また、さらに工夫すべきことはないか。 等

○ 「共通体験」の位置付けと全校体制での取組 **小学校での取組**

- ・ 学校ですべての児童が体験する活動を「共通体験」として、道徳の全体計画に位置付け、年度初めに目的や内容、実施方法等について協議する。
- ・ 「共通体験」の実施に当たっては、事前指導で児童が体験活動を行うねらいを理解し、事後指導で感じたり気付いたりしたことをまとめるよう共通理解する。
- ・ 児童の気付きや感想等を掲示することにより、友だちの考えにふれたり、自分の考えの変容に気付いたりできるよう環境づくりを工夫する。



○ 体験したことを道徳の時間に生かす工夫 **中学校での取組**

導入の場面での活用

体験活動の様子を写真やVTR等を用いて紹介し、活動したことや感じたこと等について話し合うことにより、興味関心や問題意識をもって道徳の時間に臨むことができるようにする。

魅力的な教材としての活用

地域と一体となって取り組む行事や特色ある体験活動での出来事などをもとにした資料を作成するなどして、発達段階に応じた指導を行う。

自分自身を見つめ直す場面での活用

資料をもとに考えたことと体験活動後の感想や気付き等を比べることにより、自分自身を見つめ直すことができるようにする。



3 道徳の時間の充実と指導体制

道徳の時間の指導に当たっては、学級の実態や児童生徒の発達段階、指導の内容や意図、資料の特質等に応じて、柔軟な発想をもち、多様な学習指導を構想するとともに、全教員が協力して取組を進めていくことが重要です。

また、道徳の時間への校長や教頭等の参加、他の教員と協力した指導、保護者や地域の方の参加や協力等が得られるように工夫し、道徳の時間を充実させていくことが大切です。

実践事例 道徳の時間の充実をめざした取組

- 指導案づくりを通じた協議
 - ・ 道徳の時間の指導力を向上させるため、同一資料を扱い、資料分析や発問づくり、板書構成等の観点から、指導案づくりを行う。
 - ・ 学年部で検討した内容を持ち寄り、児童生徒の実態に応じた学習展開やねらいに迫る中心発問について全教員で協議を深める。
- 中心発問と学び合いの場の効果的な位置付けによる授業改善への取組
 - ・ 児童生徒が、自分とは異なる考え方や価値観にふれ、よりよい生き方や人間としての在り方などについての考えを深める授業をめざすことを全教員で共通理解する。
 - ・ 「中心発問が適切であるか」「中心発問の前後の学習活動に工夫する点はないか」等について、焦点化して協議を深める。

実践事例 教員の相互参観による授業改善への取組

- 授業改善に向けての日常的な取組 **小学校での取組**
 - ・ 導入や展開の場面等、参観してほしいポイントを授業者が全教員に示して道徳の時間の授業を公開する。
 - ・ 授業後には、児童の反応や発言をもとにして、資料提示の仕方や中心発問の在り方、ワークシートの活用等について協議する。
- 積極的な授業公開の実施 **中学校での取組**

「授業は見られてうまくなる」というモットーのもと、道徳の時間について次のような点について共通理解する。

 - ・ 担任と副担任で担当する。(月一度は副担任も授業を行う。)
 - ・ 原則公開として、教員は互いに参観し合い、指導力の向上をめざす。

実践事例 事前・事後検討会の工夫

○ 授業研究の在り方についての共通理解

道徳教育推進教師が、道徳の時間の授業研究の計画と実施方法について提案し、次のような点について全教員で共通理解を図る。

- ・ 授業研究に当たっては、事前・事後検討会を行い、研修を深める。
- ・ 事前検討会では、授業者が児童生徒の実態、授業づくりの工夫点等について説明し、全教員で改善点について協議する。
- ・ 事後検討会では、授業記録に基づき、授業のねらいにかかわる児童生徒の発言や記述、中心発問や学習活動の工夫等について検証する。
- ・ 授業研究を通して、互いの授業を参観し、相互評価する方法についても情報交換する。

○ 「道徳授業デザインシート」の活用 **中学校での取組**

記入する内容

- ① 授業のねらい
- ② 資料に対して予想される生徒の反応
- ③ 板書計画
- ④ 発問及び授業の流れ

事前検討会での活用

- ・ 板書計画と中心発問を構想することで、生徒の多様な意見を尊重しながら、授業のねらいを達成できるようにする。
- ・ 授業参観のポイントを明確にし、自らの指導力の向上に生かすことができるようにする。



○ 「道徳の時間評価カード」の活用 **小学校での取組**

記入する内容

- ① 道徳の時間の授業についての評価
 - ・ 資料提示は効果的であったか。
 - ・ 児童がしっかりと考える場面があったか。
 - ・ 児童の考えや意見を取り上げ、広げたり深めたりできたか。
 - ・ 学級に支持的風土があるか。 等
- ② 自由記述欄

事後検討会での活用

- ・ 評価結果と自由記述欄への記述をもとに、協議する内容を焦点化する。
- ・ 児童の発言やつぶやきの記録と照らし合わせながら、指導のポイントについて協議を深める。
- ・ 児童の中心発問への反応や学習活動への参加の様子等を多面的にとらえ、授業者の働きかけについて検討する。

4 道徳用教材の整備・充実・活用

先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とし、児童生徒が感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を通して、児童生徒の発達段階や特性等を考慮した創意工夫ある指導を行うことが重要です。

そのため、道徳の時間に用いられる教材の要件として「ねらいを達成するのにふさわしいもの」「多様な価値観が引き出され、深く考えることができるもの」「生きる喜びや勇気を与えられるもの」等の観点から精選していくことが大切です。また、地域の文化や出来事等を取材した郷土資料においては、児童生徒がどのように受け止めるかを予想するなどして、資料提示や発問の仕方の工夫等について検討することが必要です。

実践事例 資料の作成と活用

○ 自作資料のもつ意味についての共通理解

- ・ 魅力的な教材の開発に取り組み、資料を自ら作成した際には、道徳の時間の年間指導計画に位置付け、活用する。
- ・ 校内研修で、自作資料の長所だけでなく課題についても協議を深める。

自作資料の長所

- ・ 学級の実態や課題に応じた資料を作成することができる。
- ・ 適時性、話題性から、児童生徒を引きつけることができる。 等

自作資料の課題

- ・ 作成者の思い込みが強く、児童生徒の興味関心に基づいていない場合がある。
- ・ 資料の内容に飛躍があったり、不自然な描写があったりして、児童生徒の心に響かない場合がある。 等

○ 自作資料の効果的な活用

- ・ 自作資料の課題を解決するために、複数の教員で「児童生徒の実態に合っているか」「内容や描写は適切であるか」等について十分に検討する。
- ・ 学年部で同一の自作資料を用いて授業をし、児童生徒の反応や発言をもとに、自作資料の修正改善に取り組む。

○ 自作資料と指導案等をセットにして活用

- ・ 自作資料と指導案、児童生徒が記入したワークシート等をセットにして保管し、全教員が活用できるようにする。

実践事例 資料を自ら作成する上で配慮すること

「40年以上も『ものづくり』に取り組むYさん」 **小学校での取組**

○ 中心となる内容項目の明確化

Yさんの長年にわたる「努力」をねらいとし、「Yさんの努力」とは何かについて考えることができるような資料を作成する。

○ 資料を作成するための情報収集

Yさん本人へのインタビュー、関連記事等から情報収集を行う。

○ 資料作成における工夫

- ・ ねらいに迫るために、提示する内容を「ものづくりへの取組」「技術と苦労」「辛抱強く続けてきたこと」の3つに絞る。
- ・ Yさんの願いを共感的に受け止めることができるよう、授業者が読み聞かせをする中で、ものづくりに取り組むYさんの写真を提示する。
- ・ 児童がYさんを身近な存在として感じることができるよう、人間的な弱さや葛藤が表れるようなエピソードを取り上げる。

○ 道徳の時間と各教科等の学習の効果的な関連付け

【図画工作】レリーフを作ろう

銅板を打ち抜き、共同作品を制作し、作品づくりの喜びを味わう。

【総合的な学習の時間】夢に向かって

各分野で活躍されている先輩の方々から、これまでの苦労や努力したことなどを伺うことを通して、自分の生き方について考える。

【社会】わたしたちの生活と工業

専門の技術を生かした人の工夫や努力、喜びなどを探る。

特色ある取組 道徳資料ファイルの活用

道徳の内容項目ごとに、ファイルし、整理している学校があります。

指導案やワークシート等を各内容項目ごとにファイルすることにより、児童生徒の実態に応じた資料を選ぶ際に役立てるとともに、他の学年・学級での道徳の時間にも活用することができます。

収集したい資料について情報交換し、全教員で資料集めをするなどして、道徳の時間に生かすことができるファイルになるよう一層工夫していくことが大切です。



5 道徳教育の情報提供や情報交換

各学校においては、全教員が共通の課題意識をもって取り組むことができるよう、道徳の時間の効果的な指導方法や全教育活動を通じての道徳教育の推進等にかかわる情報を積極的に提供することが重要です。

また、道徳の時間における児童生徒の様子や家庭や地域との連携の在り方等について、日常的に情報交換ができる雰囲気をつくり、協力体制を確立することが大切です。

実践事例 全教員が共通の課題意識をもった取組 **小学校での取組**

- 児童の課題を解決するための全校体制での取組
 - ・ 「気持ちのよいあいさつをする」「トイレのスリッパをそろえる」等の課題について、全教員で共通理解し、特活部会、心づくり委員会（生徒指導）、学びづくり委員会（校内研修）で連携した取組を行う。
 - ・ 道徳教育推進教師は、校内の組織を生かすとともに、学校生活を通じた児童の成長を全教員に知らせたり、学校だより等で家庭にも紹介したりするなど、コーディネーター的な役割を果たすよう心がける。

○ 学校だより等による取組の紹介（あいさつ運動）

工夫

- ・ 児童による運営委員会を中心に、「気持ちのよいあいさつで1日が始まる学校にしたい」という願いを実現するために、毎月5・10・15・20・25・30日を「あいさつ運動の日」として定め、取り組んでいる。
 - ・ 運営委員会が率先して元気にあいさつをしながら校舎内を周り、あいさつの様子を昼の放送等で紹介し、意識付けを図る。また、運営委員会の取組に協力したいという児童の参加も募り、全校に広げている。
 - ・ 学校だよりや学年だより等で、学校での取組の様子や児童の声等を紹介し、家庭や地域での取組につながるよう呼びかけている。
- #### ○ 児童の気付きを生かした生活の向上（トイレのスリッパの整頓）

工夫

- ・ 教員が、乱れているスリッパをそろえる取組を2週間継続する。
- ・ 全学級で、「最近気付いたこと」について話し合う時間を確保し、トイレのスリッパをそろえることの大切さを伝える。
- ・ 全校で「トイレのスリッパ確認週間」を設けて、その成果について表にまとめて掲示し、取組を通して変容したことなどについて確認できるようにする。

実践事例 「道徳研修だより」の発行による情報交換の活性化

○ 共通理解を深める「道徳研修だより」の発行

日常的な情報交換に役立てるとともに、校内研修等における協議を深めるために、「道徳研修だより」を発行する。

工夫

- ・ 学習指導要領の改訂に伴う道徳教育推進にかかわる周知や道徳の時間の授業改善にかかわる内容、他校の先進的な取組等を情報提供する。
- ・ 各担当者が分担して情報提供したり、全教員から行事や体験活動についての気付き等を求めたりできるよう内容を工夫する。

道徳研修だより（例）

〇〇先生、道徳の授業公開、ありがとうございました。先生方、初めてワークショップ方式で協議しましたが、いかがでしたか。協議の内容や進め方などについてお気付きがあれば、担当までお知らせください。今日は、先生方が付箋紙に「授業のよさ」について書かれていたことの中から、今後の授業づくりに生かしたいと思ったことを紹介します。



□ 授業者の「よさ」

- ・ 子どもたちの発言を認め、グループで話し合う場面でアドバイスをされていたのが、とても参考になりました。

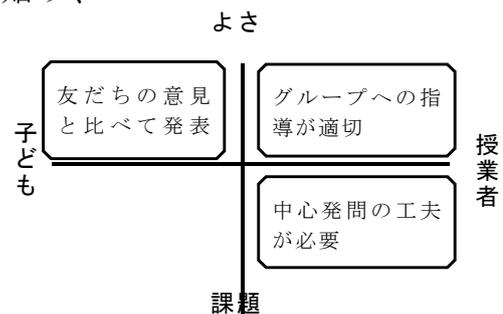
□ 子どもの「よさ」

- ・ 友だちの意見をよく聞き、自分の考えをしっかりと発表することができていた。普段、どう指導されているかを聞かせてもらいたい。

特色ある取組 ワークショップ方式の事後検討会

教員一人ひとりの意見が生かせるよう、次のような手順でワークショップ方式による授業研究の事後検討会を行っている学校があります。

- ① 教員一人ひとりが付箋紙に授業の「よさ」と「課題」を書く。
- ② グループごとに付箋紙を表（右図）に貼り、協議する内容を焦点化する。
- ③ 協議した内容や改善案等をグループの代表者が発表する。
- ④ グループの発表をもとに全体協議を深め、授業者が成果や今後の改善に向けた視点等を話す。



6 授業の公開など家庭や地域との連携

学校と家庭、地域との連携による指導の効果を高めるためには、保護者や地域の方との共通理解が欠かせません。

子どもの道徳性の育成にかかわり、ともに子どもを育てていくという意識がもてるよう啓発活動を推進するとともに、開かれた学校の雰囲気をつくり、道徳の時間の授業の公開、地域の諸行事を生かした学校の教育活動等を進めていくために、協力体制をつくる必要があります。

実践事例 道徳教育を推進するための地域との連携

「地域協議会」の開催 小学校での取組

目的

- 学校での体験活動に協力していただいている「学校支援委員会」を中心にして、地域と一体となり道徳教育を推進する。（年3回程度の開催）
- ゲストティーチャーと、「子どもをいかに育てていけばよいか」について協議を深め、教育活動の内容と指導方法について検討する。

成果

- 新たな取組についての提案
 - ・ 隣接した農業高校の生徒にも協力をお願いし、栽培活動を通じた児童との交流活動を実施（学校種をこえた異年齢集団とのかかわり）
 - ・ 学校行事への参加や料理教室を契機とした地域婦人会との定期的な交流活動を実施（地域人材の積極的な活用）
- 児童の道徳性の育成にかかわる助言や支援



【地域の方からの気付き】

地域の安全見守り隊の方から、校内では明るく元気な児童のあいさつが、校外に出ると今ひとつであるという実態を知らせていただいた。

【家庭や地域と取り組む「あいさつ運動」】

- ・ 児童の課題について全教員と共通理解を図り、安全見守り隊や老人クラブ、PTAにも協力を依頼して「あいさつ運動」を実施した。
- ・ 登校時に、あいさつをきっかけとして地域の方と会話をした児童は、あいさつの大切さを改めて認識することができた。
- ・ 「子どもたちのあいさつがよくなった。」という声が、学校に寄せられた。このような児童の変容を学校だより等で家庭にも知らせている。

実践事例 学校と家庭、地域による情報交換

「道徳フォーラム」の開催 小学校での取組

目的

- 道徳の時間の授業を家庭や地域に公開する。
- 学校、家庭、地域において、子どもの豊かな心を育むための具体的な取組について情報交換し、連携の在り方についても協議を深める。

内容

- 参観日における開催
 - ・ 一般参観授業（1～5年、特別支援学級）、道徳公開授業（6年）
 - ・ 「道徳フォーラム」（70分間） 保護者、地域の方の参加
- 「道徳フォーラム」の内容
 - ・ テーマについての説明（校長）
「豊かな心を育てるために」
 - ・ 学校の取組の説明（道徳教育推進教師）
 - ・ 意見交流（パネラー：大学教授、学校評議員、育友会副会長、校長）



成果

- 事前に学校だより等で、「道徳フォーラム」開催の目的や内容を知らせることにより、多数の保護者や地域の方の参加を得ることができた。
- 学校の取組を家庭や地域に紹介し、相互に意見交流する場を設定することにより、今後の協力体制の在り方等について協議を深めることができた。

課題

- 平日に実施したが、保護者や地域の方が参加しやすいよう、土・日曜日やPTA行事との同日開催など、期日や日程を工夫する。
- 日ごろから開かれた学校づくりに心がけるとともに、学校の取組について、情報公開や情報収集を進める。

特色ある取組 家庭や地域との連携における工夫

道徳教育は、学校と家庭、地域が連携することで、一層充実させることができます。そのために、次のような工夫をしている学校があります。

- 道徳の時間の授業を公開する際に、事前に指導のねらいや学習の流れ、扱う資料等を情報提供して参加を呼びかける。
- 道徳の時間や体験活動等を行う際に、保護者や地域の方の特技や専門知識を生かしゲストティーチャーとして参画してもらう機会を設ける。

7 道徳教育の研修の充実

全教育活動を通して道徳教育を推進していくために、全教員の共通理解のもとで、校内研修を充実させていくことが大切です。

校内研修で取り組む内容を明確にして、各教科部や学年部、校務分掌担当者と連携を図るとともに、研修の方法を工夫しながら、校内の協力体制を整えることが大切です。

実践事例 校内研修で取り組む内容

- 行事等の体験活動と道徳の時間との効果的な関連付け
 - ・ 学期に1回程度、各学年の行事等に合わせて、道徳の時間や各教科等との関連を吟味しながら、重点的に指導する内容を検討する。
 - ・ 体験活動後の児童生徒の感想などをもとにして、道徳の時間との効果的な関連付けの在り方について、研究を進める。
- 道徳の時間の指導力の向上
 - ・ 言語活動を充実することを通して、児童生徒の思いや考えを引き出し、高め合う授業になるよう、児童生徒の考えを深める中心発問の在り方、ワークシートの有効な活用、話し合い活動の効果的な位置付け等について検討する。
 - ・ 道徳の時間の改善のために、指導案の事前検討会を位置付ける。提案学年が指導案の説明をし、研修主任または道徳教育推進教師が指導案検討の視点を示すなどして、全校体制で取り組む。
 - ・ 「個人思考の段階」「集団思考の段階」「一般化する段階」における指導のポイントについて協議を深める。
- 人間関係づくりの推進
 - ・ 互いに認め合い、協力し合う集団を育てるために、全校で安心して自分の考えを表現することができる授業づくりに取り組む。
 - ・ 行事や体験活動等の中に、異学年の友だちと協力したり、地域の方と交流を深めたりするなど、「人」とかかわる場面を位置付ける。
 - ・ 児童生徒の実態に応じた取組になるよう、活動内容や方法について、全教員で協議し、実践する。



実践事例 全教員が力を発揮できるような研修体制の確立

学校の規模や実態等に応じて、道徳教育を推進する研修体制を確立して取り組むことが大切です。以下に2つの例を紹介します。

○ 研修部、道徳部、学年部の連携による研修体制

各学年3～4学級の中規模校であることから、実践研究は学年部を中心に行うようにしている。

① 学年部での協力

道徳の時間の授業検討や総合的な学習の時間と道徳の時間との関連付けについての学年研修を行う。



② 全員による授業公開の実施

校内研修として全員が道徳性の育成の観点から各教科等の授業研究を行い、授業を参観し研修を深める。

○ 道徳教育を推進する3つの部会の連携による研修体制 **中学校での取組**

① ふれ合いのある「集団づくり」部会

目的 教師と生徒、生徒同士のよりよい人間関係を育む。

工夫 「構成的グループエンカウンター」の実施に当たっては、生徒の学校生活における満足度を測る質問をし、必要なエクササイズを選定や実践プログラムの作成を行い、その成果を道徳の時間にも生かす。

② 対話のある「授業づくり」部会

目的 教師と生徒・生徒同士が学習を通して、ふれ合いを大切にしたい温かい人間関係を育む。

工夫 ペアやグループで課題を解決する学習を行うことにより、対話のある授業を展開する。生徒へは話し合い活動のスキルの習得、教師へは受容的態度とねらいに焦点化していく指導が求められる。

③ 豊かな「体験活動づくり」部会

目的 体験活動を通して、思いやりの心を持ち、人や自然に自ら積極的にかかわっていく意欲や態度を育む。

工夫 体験活動を通して育みたい道徳性を明確にし、道徳の時間と相互に関連付けを図った実施プログラムを作成する。その際、生徒が活動への意欲を高めたり、体験活動のよさや価値を感じ取ることができるよう、「仲間・協力・言葉」を意識させ取り組むようにする。



第三章 各学校における特色ある道徳教育の推進

道徳教育を推進するに当たっては、児童生徒の発達段階や特性等を踏まえるとともに、学校や地域等の実態や課題に応じて重点化を図るなどして、充実させることが大切です。

ここでは、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における特色ある取組の例を紹介します。

小学校での取組

地域の恵まれた自然を生かした道徳教育の実践

○ 学校農園活動の実施

地域の恵まれた自然の中で、進んで汗して働く喜びを知るとともに、野菜や果実の栽培・収穫、牛の飼育等を通して、生命尊重の心を育てることをねらい、総合的な学習の時間等と道徳の時間とを関連付けて取り組んだ。指導に当たっては、児童の活動が長期に渡ることから、「体験→感動→挑戦」の段階を大切に「ステップカード」を活用した。



「ステップカード」の内容

- ①「体験したこと」 ②「心が動いたこと」 ③「挑戦すること」

児童は、これら3点を記録することにより、活動したことを振り返ったり、次の活動に見通しをもったりすることができるようになった。

○ 人間関係の広がりをねらった交流学习の計画

小規模校における固定化した人間関係を広げ、人間関係形成能力を育てることをねらい、山と海という環境の異なる学校同士で、互いのもつ恵まれた自然に感動する機会をもつことにした。まず、交流学习の実施に向けて、前年度の反省をもとに両校でサマーキャンプ、スキー教室の実施計画について協議した。

また、両校で活動内容や指導方法について検討し、友だちや自分のよさに気付くことができるように、振り返りカードに「友だちのよさ」と「自分のよさ」を記述する欄を新たに加えるとともに、児童同士が教え合ったり、協力したりするグループ学習を位置付けるなど、工夫して取り組むことを確認した。



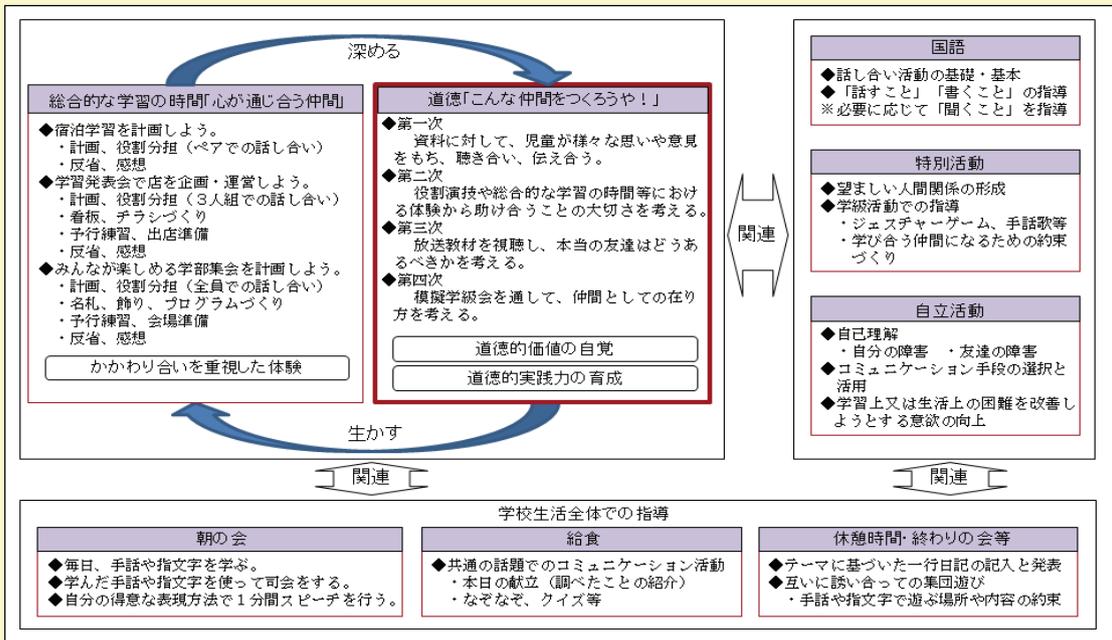
教育活動全体を通じた道徳教育の推進

本校小学部は、児童のコミュニケーション能力の育成を重点目標とし、各教科、領域等と関連付けた道徳の時間の指導を展開している。

○ 道徳の時間と教科や領域等を関連付けた道徳教育の充実

児童が障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、強く生きようとする意欲を高めるためには、各教科、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動等との関連を図りながら、日常の様々な機会をとらえた道徳教育を展開することが大切である。

肢体不自由のある児童と聴覚障害のある児童が在籍する高学年の学級で、「心が通じ合う集団づくり」をテーマに、道徳の時間と教科や領域等の関連を明確にした構造図を作成し、指導を展開した。



○ コミュニケーション手段の選択と活用による集団活動の充実

障害のある児童同士のかかわり合いを充実するためには、一人ひとりの児童が主に使っているコミュニケーション手段を互いが理解し合い、状況に合わせて選択・使用する経験を積み重ねることが大切である。児童は、話し言葉、文字、手話、指文字、絵カード、コミュニケーション支援機器等を使い、教師の支援がなくても、自分たちで遊んだり、共通の話題で楽しんだりするようになった。

また、道徳の時間に「これでいいのかな。」「これがいいはずだ。」などと考えたことを、総合的な学習の時間等の体験的な活動により深めることで、友だちと協力し助け合うことの大切さに気付き、実感することができた。

○ ティーム・ティーチングを生かした評価の工夫

道徳の時間だけで、道徳的価値の自覚や道徳的実践力の育成を評価することは難しい。総合支援学校では、TTで児童の指導に当たるという利点を生かして、学校生活の様々な場面で、学習内容が具体的な言動になって表れたかどうかを観察し、望ましい言動に対しては、その場で称賛するようにした。

その結果、児童が自らの成長を実感し、互いの思いを伝え合い、聴き合って、みんなが楽しめるように配慮する姿が学校生活の様々な場面で見られるようになった。

人とのかかわりを大切にした道徳教育の実践

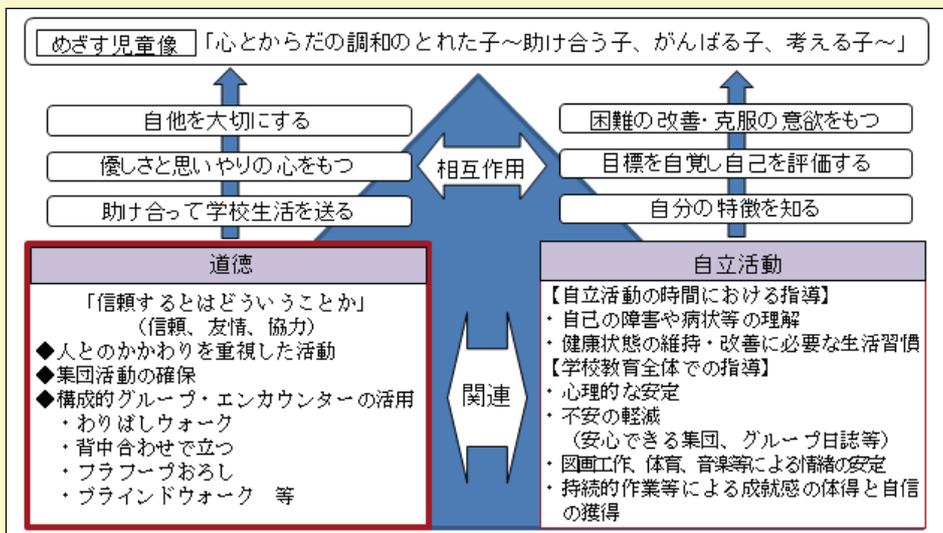
○ 本校の道徳教育の目標

本校では、「心とからだの調和のとれた子～助け合う子、がんばる子、考える子～」の育成をめざし、道徳の時間においては、自他を大切にし、優しさと思いやりの心を持ち、助け合って学校生活を送ることを目標としている。

○ 自立活動と関連付けた自分自身を見つめるための工夫

自立活動では、児童が自分の障害や病状等についての認識を深め、心理的不適応や不安を改善・軽減するなど、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培っている。

指導に当たっては、児童が成就感を味わい、自己を肯定的にとらえるとともに、他者とのかかわりの中で自分自身を見つめることを大切にし、道徳の内容のうち、「主として自分自身に関すること。」「主として他の人とのかかわりに関すること。」と関連付けた指導を心がけている。



○ 他の人とのかかわりを意識した授業づくりの工夫

本校小学部の児童は5名である。そのため、集団の場を確保し、児童同士のコミュニケーション能力の向上をめざして、図画工作や体育、音楽、総合的な学習の時間等に必要に応じて合同授業を行っている。

道徳の時間においても、時と場合に応じて合同授業を設定し、体験的な活動を通して相手の気持ちを考えて行動する学習を行っている。

「目隠しで歩こう」の学習では、手をつないだり、肩を支えたりして助け合い、学習後には「相手を信じてよかった。」という感想があり、一人では難しくても、「協力」すればできるという喜びを味わうことができた。その他の活動後の振り返りでは、友だちのよいところを見つけ、相手を大切にする発言が聞かれた。

- ・自分がしてもらいたいことを相手に伝えることができた。
- ・友だちが安全に歩けるように気を付けることができた。
- ・日頃あまり会話を交わさない友だちが、「怖かったね。」と声をかけてくれた。
- ・どうしたらよいか分からなかったが、「息を合わせよう。」と言ってくれた。



中学校での取組

地域の魅力ある素材を生かした道徳教育の実践

○ 発達段階に応じた体験学習の計画的な実施

道徳の全体計画と道徳の時間の年間指導計画の見直しを図ることを通して、各教科等における道徳性の育成について考え、指導のポイントを確認する。また、各学年で地域の魅力ある素材を生かした体験学習を計画的に位置付け、活動の内容や方法を工夫して実施する。

○ 地域の自然から学ぶ体験学習

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1年 | 「海の学習 水軍太鼓」(小学校5・6年と合同実施) |
| 2年 | 「みかんの農業体験学習」(小学校4年と合同実施) |
| 3年 | 「スイセンの球根掘り体験学習」(小学校3年と合同実施) |

地域の人々から学んだり、体験したりすることを通して、地域のよさについて考えることにより、自然や伝統文化を大切にする心を育てることをねらい、発達段階に応じた体験学習に取り組んだ。その際に、異年齢集団とのかかわりを深めるために、小学校の上記ペア学年との合同実施とし、互いに励ましたり、協力したりして、達成感を味わうことができるように工夫した。



○ 感謝と思いやりの心を育むボランティア体験学習

- | | |
|------|-----------------|
| 1年 | 「福祉体験学習」 |
| 2・3年 | 「『ふれあい弁当』高齢者訪問」 |

地域の人々のために、自分のできることにについて考え、実践することを通して、地域の人々への感謝や思いやりの心を育てることをねらい、福祉という3年間一貫したテーマの学習に取り組んでいる。

これらの体験学習を行う前に、関連する内容項目を扱った道徳の時間を行い、生徒一人ひとりが体験学習を行う意味についても深く考えることができるようにした。

また、体験学習後には、振り返りの場면을効果的に位置付け、「心に残ったこと」や「自分の心の変容」について、ワークシート等に記述するよう全校で共通理解した。これらの記述の中で、郷土を大切にし、高齢者の方々のために役立ちたいという生徒の気持ちを確かめることができた。さらに、生徒が互いの感じたことや考えたことから学ぶことができるように、ワークシートやカード等を学級に掲示するようになっている。



総合支援学校(中学部)での取組

体験活動を生かした道徳教育の充実

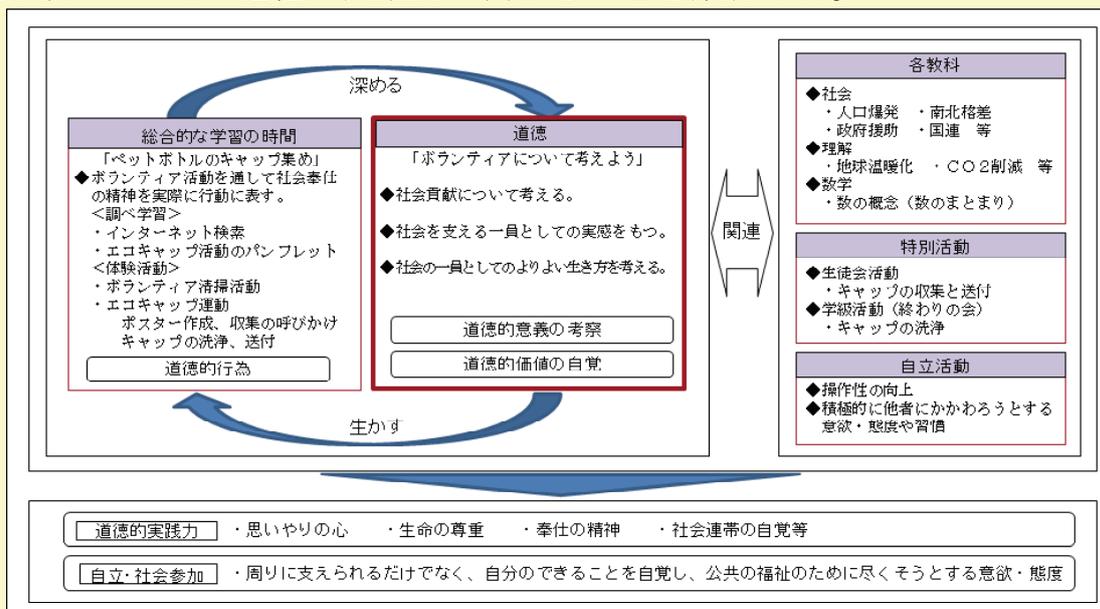
道徳教育は障害のある生徒の自立・社会参加のために必要な意欲や態度を育成する上で非常に重要である。また、視覚からの情報が限られ、様々な体験の機会が少なくなりがちな視覚障害のある生徒にとっては、体験活動を効果的に設定する必要がある。

○ 総合的な学習の時間の体験活動を生かした単元の設定

総合的な学習の時間に行ったペットボトルのキャップをリサイクルする活動と関連付けた単元「ボランティアについて考えよう」では、インターネットを活用した情報の収集、ポスターや回収ボックスの製作、キャップ集めの呼びかけ、洗浄作業、キャップの送付といった様々な体験活動をもとに、社会貢献や社会の一員としての生き方を考えた。

○ 特別活動の学習と関連付けた活動の工夫

生徒会活動の一環として、全校集会の中で、児童生徒や教職員に協力を呼びかけ、キャップの回収や集めたキャップの洗浄を行い、エコキャップ推進協会への送付を続けている。このことにより、思いやりの心、生命の尊重、奉仕の精神等についての道徳的実践力が高まることを期待した。



○ 各教科等と関連付けた指導

各教科等の指導の中で本単元と関連付けた指導を行った。

視覚障害のある生徒には、作業を通して操作性を高めることも重要であるため、数学の授業では、キャップ100個を一まとまりとする活動を通して、数の概念を身に付ける学習を取り入れた。また、毎日の帰りの会では、キャップ洗浄を根気強く続けた。

総合的な学習の時間においては、送付したキャップがどのように役立っているかも学んだ。このことを通して、生徒は社会を支える重要な一員であることを実感することができ、社会の一員としてのよりよい生き方を考える機会となった。



教育活動全体を通じて行う道德教育の推進

○ 教科指導における道德教育の計画的推進

高等学校では「道德の時間」が設けられていないため、日常の教育活動全体を通して道德教育を行うこととなる。そこで、学習指導要領における道德教育の7つの目標に対応させた7つの観点（「生命」「思いやり」「伝統」「責任」「平和」「勤労」「生き方」）を設定し、これに基づいて教育活動全体の年間指導計画を作成した。教科指導においては、各教科における道德的内容を含んだ題材・単元を挙げ、これら7つの観点と照らし合わせて授業等を行うこととした。これにより、道德的価値を意識した、より効果的で体系的な指導がなされるようになった。

○ 総合的な学習の時間における「自己実現」へ向けた取組

進路学習や職場訪問等、学年ごとに段階に応じた内容を設定し、自分の生き方や進路を考えさせるとともに、計画的・組織的な指導を行うことができるようにした。例えば1学年では、伝記を用いた「先人に学ぶ」という取組において、様々な人物の生き方・考え方に触れる中で、人生の指針となる価値を学び取り、自己の在り方生き方について深く考える契機とするとともに、よりよい生き方を志向する心の育成を図っている。

○ 地域の自然、人材を生かした特色ある体験活動

本校は山間部に位置する小規模校であるが、その地理的環境などの特徴を生かし、学校行事等において、特色ある体験活動を行っている。校地内の茶垣を利用した茶摘み体験・製茶体験では、近隣の小中学校及び老人福祉施設の入所者などにも参加していただき、異年齢集団の中で、協力、学び合いの精神を育てている。カヌー体験では、恵まれた郷土の自然に親しみつつ、周囲の状況に配慮しながら協力し合う心を育てている。また、本校の生徒や卒業生が多く属している地域の神楽団を招き、上演していただくことで、地域に伝わる伝統や文化を大切にする心を養っている。これらの活動の際には、地域の人材を講師として活用している。また、動機付けと活動の成果についての振り返りを欠かさず行うことで、生徒の意識を高めるとともに、道德的価値の大切さについて、生徒が実感することをめざしている。



資料

～ 道徳教育の全体計画・道徳の時間の年間指導計画の例～

学習指導要領の改訂による改善点

小・中学校

従来からの全体計画に加え、具体的な全体計画を作成することが求められており、例えば、次のようなものを別葉にして作成し、年間を通して活用することが考えられます。

- 各教科等における道徳教育にかかわる指導の内容及び時期を整理したもの
- 道徳教育にかかわる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの

高等学校

「道徳教育の目標を踏まえ、指導の方針や重点を明確にして、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育について、その全体計画を作成すること」が新たに規定されています。

■従来から作成している全体計画の例（引き続き作成・活用）

資料1 A小学校の例

- 工夫** 校長の道徳教育の方針を明記
- 「道徳教育推進教師」の位置付けを明確化
- 家庭や地域との連携の方法について明記

■新たに加える具体的な全体計画の例

資料2 B小学校の例

- 工夫** 単元や題材と関連の深い道徳の内容項目を明記
- 学年の重点目標と関連の深い単元や題材等を明記
- 道徳教育の観点から重視する体験活動を明確化

資料3 C 中学校の例

- 工夫**
- 生活目標（キーワード）を明記
 - キーワードと関連の深い単元や題材等を明確化
 - 家庭や地域との連携の欄に、道徳の内容項目を明記

資料4 D 小学校の例

- 工夫**
- 道徳教育にかかわる「指導の内容及び時期」を月ごと、教科・領域ごとに整理
 - 道徳教育からみたねらいを明記
 - 成果や課題等を備考欄に記入

資料5 E 小学校の例

- 工夫**
- 命を大切に作る心の育成に焦点化した重点的指導に関する基本構想を作成
 - 道徳の時間と体験活動の目的を明確化
 - 道徳の時間と体験活動との関連付けの方法について明記

■道徳の時間の年間指導計画の例

資料6 F 小学校の例

- 工夫**
- 学習活動や主な発問等を見直し、指導の概要を明記
 - 道徳の時間の指導を充実させるために、各教科等における道徳性の育成の観点を月ごとに整理
 - 心のノートとの関連を明記

■高等学校における道徳教育全体計画の例

資料7 G 高等学校の例（現行の教育課程による）

- 工夫**
- 道徳教育の重点目標を明記
 - 学校の教育活動全体を通じた道徳教育の相互の関連性の明確化

道徳教育全体計画

A小学校



B小学校 道徳教育の重点目標		人との関わりを通して、豊かな心もち、よりよく生きようとする子どもの育成 ○かけがえのない命を大切にできる子 ○相手の気持ちを考え、思いやることのできる子 ○約束やきまりを守り、正しいことを進んで行うことのできる子										学年重点目標	
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校行事		入学式 2(2)思いやり		防犯交流会 2(4)感謝	避難訓練 3(1)生命尊重	身体測定 1(1)節度ある生活態度 運動会 2(3)信頼、友情	社会見学 4(2)勤労	音楽会 2(3)信頼、友情	持久走大会 1(2)勤勉、努力 地震避難訓練 3(1)生命尊重	身体測定 1(1)節度ある生活態度		卒業式 4(4)愛校心、修了式 2(4)尊敬、感謝	
特別活動	学級活動	今日から3年生 1(1)節度ある生活態度 係をつくろう 4(2)勤労 楽しい学級を作る 2(3)友情	図書室の利用 4(1)公徳心 相手を思いやる心 2(2)思いやり 全校集会をしよう 4(4)愛校心	交通教室 3(1)生命尊重 虫歯を防ぐ 1(1)節度ある生活態度 衛生に気をつけた給食 2(4)感謝 雨の日の遊び 1(1)節度ある生活態度	夏休みのくらし方 1(1)節度ある生活態度	係を決めよう 4(2)勤労 運動会をがんばろう 2(3)信頼、友情	目を大切に 3(1)生命尊重 だれにでもあいさつ 2(1)礼儀 家族に感謝しよう 4(3)家族愛	今の気持ちは(ピア・サポート) 1(5)個性の伸長	かぜの予防 1(1)節度ある生活態度	係を決めよう 4(2)勤労 上手なたのみ方、ことわり方 2(1)礼儀	インフルエンザの旅 1(1)節度ある生活態度 テレビと漫画 1(1)節度ある生活態度	お楽しみ会をしよう 2(2)思いやり、親切 全校集会をしよう 4(4)愛校心 春休みのくらし方 1(1)節度ある生活態度	
	児童会活動 クラブ活動	地区児童会 2(2)思いやり、親切	1年生を迎える会 2(2)思いやり		地区児童会 4(1)公徳心、規則の尊重							6年生を送る会 2(4)尊敬、感謝	
総合的な学習の時間		〇〇町を知ろう(地域紹介) 4(5)郷土愛	★〇〇町を知ろう(探検) 1(2)礼儀 4(1)公徳心、規則の尊重	〇〇町を知ろう(ガイドマップ作り) 2(3)友情、信頼 4(5)郷土愛	〇〇町を知ろう(ガイドマップ作り) 2(3)友情、信頼 4(5)郷土愛	手話で伝えるコミュニケーション (調べ学習・手話サークル) 2(1)礼儀 2(2)思いやり、親切	手話で伝えるコミュニケーション (耳の不自由な人) 2(2)思いやり、親切 〇〇町にかかわる人とふれあおう(インタビュー) 2(1)礼儀 2(4)尊敬、感謝	〇〇町につたわる名物をさがそう(特産物・イベント) 4(5)郷土愛	〇〇町につたわる名物をさがそう(特産物・イベント) 4(5)郷土愛	〇〇町を紹介しよう(関わりのある人への紹介) 4(5)郷土愛	〇〇町を紹介しよう(関わりのある人への紹介) 4(5)郷土愛 外国の食・物を作ろう(調べ学習・講師・調理) 2(4)尊敬、感謝	外国の食・物を作ろう(調べ学習・講師・調理) 2(4)尊敬、感謝	
★道徳教育の観点から重視する体験活動													
道徳		すきなことから 1(2) 勤勉、努力 やくそく 1(4) 誠実・明朗 目の見えない犬 3(1) 生命尊重	大自然のおきやくさん 3(2) 自然愛、動植物愛護 フラフープを下ろそう 4(4) 愛校心 金色の魚 1(1) 節度ある生活態度	ポケットのあきかん 4(1) 公徳心、規則の尊重 ゆうどうえんはく 3(3) 敬愛 ろばを売りにいく親子 1(1) 節度ある生活態度 貝がら 2(3) 友情、信頼	あと、ひとこと 1(3) 勇気 なかよしポスト 4(4) 愛校心	しつれい まぼさん 2(1) 礼儀 耳をおいでてかかれませんか? 2(2) 思いやり、親切 大きなテーブル 4(3) 家族愛	ひきかえのころば 3(2) 自然愛、動植物愛護 すりばち村のだんだんばたけ 1(2) 勤勉、努力 朝のそらじ 4(2) 勤労 絵はがきと切手 2(3) 友情、信頼	心ないこと(お) 3(3) 勇気 花さき山 3(3) 敬愛 お父さんのように 2(4) 尊敬、感謝 ふるしき 4(6) 愛国心	あらいそい 1(4) 誠実・明朗 エチケットしんだん 2(1) 礼儀 あめ玉 4(1) 公徳心、規則の尊重	明るくなった友だち 2(3) 友情、信頼 ガラスの心 1(4) 誠実、明朗 じぶんの考えをつたえよう 1(1) 節度ある生活態度 よりよくなりたいわたし 1(5) 個性伸長	かゆつきどう 2(4) 尊敬、感謝 新幹線で 2(2) 思いやり、親切 公園の自転車 4(1) 公徳心、規則の尊重	心の花たばこ 4(5) 郷土愛 おばちゃん、がらばれ 3(1) 生命尊重	
心のノート		そっと自分に聞いてみよう(学活) 季節を感じる心をみがこう(理科)	思いやりの心をさがそう(学活)	人の心の美しさにふれて(道徳) ひとりじゃないからがんばれる(道徳)	勇気を出せるわたしになろう(道徳)	学校はどんなところ(学活) わたしの成長を温かく見守り続けてくれる人・家族(道徳) わたしのふるさとを心に残そう(国語)	ひとりじゃないからがんばれる(道徳)	美しい心をさがしてみよう(道徳) みんなに支えられている私(道徳)	わたしたちの国の文化に親しもう(自由) 礼儀一形を大切に心をかよわせよう(道徳)	「今よりよくなりたい」という心をもとう(道徳) みんなのために流すあせはとも美しい(学活)	やくそくやきまりを守るから仲良く生活できる(道徳)	生きているってどんなこと(道徳)	
各教科	国語	すいせんのラッパ他(音読発表会) 1(5)個性の伸長 2(3)信頼、友情	自分しょうかいするスピーチをしよう(スピーチ・聞く) 1(5)個性伸長 2(3)信頼、友情	自然のかくし絵(本文) 3(2)自然愛、動植物愛護	ゆうすげ村の小さな旅館(本文) 2(2)思いやり 3(2) 自然愛、動植物愛護	わたしのお気に入りの場所 4(5)郷土愛	しょうたいじょうを書こう 4(3)家族愛 2(4)尊敬、感謝 木かげごころり(本文) 4(6)愛国心、国際理解	つな引きのお祭り(調べ、まとめる) 4(5)郷土愛 2(3)信頼、友情	わたしの研究レポート(レポートを書く) 1(1)節度ある生活態度	もうどう犬の訓練(本文) 2(2)思いやり、親切 いろいろなつたえ方を知ろう(題材) 2(2)思いやり、親切	サーカスのライオン(本文) 2(2)思いやり、親切	もしもの国に行ってみよう 1(5)個性伸長 てぶくろを買いに 2(3)信頼、友情	
	社会	わたしたちのまち みんなのまち 1 学校のまわり(町たんけん) 1(2)礼儀 4(1)公徳心、規則の尊重	1 学校のまわり(町たんけん) (まとめ・地図作り) 2(3)信頼、友情 4(5)郷土愛	2 市のようす(町たんけん) 1(2)礼儀 4(1)公徳心、規則の尊重	(まとめ・ガイドマップ作り) 2(3)信頼、友情 4(5)郷土愛 わたしたちのまちのしせつ 4(1)公徳心、規則の尊重	人々の仕事とわたしたちのくらし(話し合い) 4(2)勤労 1 スーパーマーケットで働く人(見学・インタビュー) 2(1)礼儀 2(4)尊敬、感謝	(まとめ) 1(2)勤勉、努力 2(3)信頼、友情	2 農家の仕事(■工場の仕事) (見学・インタビュー) 2(1)礼儀 2(4)尊敬、感謝	(まとめ) 1(2)勤勉、努力 2(3)信頼、友情	くらしをまもる 1 火事がおきたら(見学・インタビュー) 2(1)礼儀 2(4)尊敬、感謝 (まとめ) 2(3)信頼、友情 3(1)生命尊重	1 事故や事件がおきたら(見学・インタビュー) 2(1)礼儀 2(4)尊敬、感謝 (まとめ) 2(3)信頼、友情 4(1)公徳心、規則の尊重	3 安心してくらせる町に(話し合い) 2(3)信頼、友情 4(5)郷土愛	
	算数	どうぶつ園での1日(時間の認識) 1(1) 節度ある生活態度(話し合い) 2(3)信頼、友情 九九の表を調べよう(話し合い) 2(3)信頼、友情 (計算練習) 1(2)勤勉、努力	新しい計算を考えよう(話し合い) 2(3)信頼、友情 (計算練習) 1(2)勤勉、努力 水のかさを調べよう(調べ活動) 1(1)節度ある生活態度	筆算のしかたを考えよう(話し合い) 2(3)信頼、友情 (計算練習) 1(2)勤勉、努力	まるい形をしらべよう(もよう作り) 1(5)個性の伸長	長い長さを調べよう(長さ調べ) 2(3)信頼、友情 間の数(話し合い) 2(3)信頼、友情 もっとわり算の計算のしかたを考えよう(グループ作り) 2(3)信頼、友情	みらいへのつばさ(単位調べ) 4(6)愛国心 形をしらべよう(もようづくり) 1(5)個性の伸長 何個になるのかな(話し合い) 2(3)信頼、友情 計算のじゅんじょ(話し合い) 2(3)信頼、友情	かけ算の筆算のしかたを考えよう(話し合い) 2(3)信頼、友情 三角形を調べよう(もようづくり) 1(5)個性の伸長 大きい数を調べよう(話し合い) 2(3)信頼、友情	べつべつこいっしょに(話し合い) 2(3)信頼、友情 表やグラフに表そう(話し合い) 2(3)信頼、友情	はこの形をしらべよう(話し合い) 2(3)信頼、友情 もつとかけ算の筆算のしかたを考えよう(話し合い) 2(3)信頼、友情 (計算練習) 1(2)勤勉、努力	重さをしらべよう(調べ活動) 1(1)節度ある生活態度 そろばん(計算練習) 1(2)勤勉、努力 もうすぐ4年生(計算練習) 1(2)勤勉、努力	みらいへのつばさ(長方形作り・発表) 2(3)信頼、友情	
	理科	しぜんたんけん(観察) 3(2)自然愛、動植物愛護 植物のそだち方1(観察) 3(1)生命尊重 3(2)自然愛、動植物愛護	チョウをそだてよう(観察) 3(1)生命尊重 3(2)自然愛、動植物愛護 3(3)敬愛	植物のそだち方2(観察) 3(2)自然愛、動植物愛護 こん虫をしらべよう(観察・資料) 3(1)生命尊重	植物のそだち方3(観察) 3(2)自然愛、動植物愛護 じゆうけんきゆう(テーマ作り) 1(1) 節度ある生活態度	植物のそだち方4(観察) 3(1)生命尊重 3(2)自然愛、動植物愛護 風やゴムのはたらきをしらべよう(実験) 1(5)個性の伸長	太陽のうごきをしらべよう(観察) 3(2)自然愛、動植物愛護	太陽の光のはたらきをしらべよう(実験・資料) 3(2)自然愛、動植物愛護	豆電球のなかかりをつけよう(実験) 1(5)個性の伸長	ものの重さをしらべよう(実験) 1(5)個性の伸長	じしゃくのふしぎをしらべよう(実験・資料) 1(5)個性の伸長 3(2)自然愛、動植物愛護	おもちゃショーをひらこう(工作) 1(5)個性の伸長	
	音楽	学年の歌「友だち」 2(3)信頼、友情 階名になれよう「春の小川」 「茶つみ」 3(2)自然愛、動植物愛護 4(6)愛国心	リコーダーに親しもう(練習) 1(2)勤勉、努力			いろいろな曲のちがいをかんじとろう(鑑賞) 4(6)愛国心、国際理解	音をきき合せて合わせよう(合奏) 2(3)信頼、友情	曲の気分をかんじとろう(鑑賞) 「ハックルベリーフィン」 4(6)愛国心、国際理解	ふしのとくちょうをかかんじとろう(鑑賞) 3(3)敬愛 4(6)愛国心		生き生きと歌おう(お別れ式の歌) 2(4)尊敬、感謝		
	図画工作	小さなびじゅつかん(鑑賞) 3(3)敬愛 色と形の絵の具あそび(作成) 1(5)個性の伸長	蕾の絵(作成) 1(5)個性の伸長 カラフルねんどのお舌へようこそ(鑑賞) 2(3)信頼、友情	ゆめをつめこんで(鑑賞) 2(3)信頼、友情 ほって、けずって、ひらめいて(鑑賞) 2(3)信頼、友情	光と色のファンタジー(鑑賞) 3(3)敬愛	お話の絵(鑑賞) 2(3)信頼、友情 ようこそキラキラの世界へ(鑑賞) 3(3)敬愛	くぎうちトントン(鑑賞) 2(3)信頼、友情	フワフワさんのドアかざり(鑑賞) 2(3)信頼、友情	はんでびたてゆめ(作品紹介) 2(3)信頼、友情	のびせ、せん、線(作成) 1(5)個性の伸長	はこのなかみはひ・み・つ(鑑賞) 2(3)信頼、友情 ふしぎなもの(鑑賞) 2(3)信頼、友情	みんなでつくるファッションショー(作成) 2(3)信頼、友情 作品づくり(鑑賞) 2(3)信頼、友情	
体育	表現運動(レッツダンス) 2(3)信頼、友情	基本の運動(はまびと・とびまこあそび・新体力テスト) 1(2)勤勉、努力	保健(毎日の生活と健康) 1(1)節度ある生活態度 基本の運動(うく・およく) 3(1)生命尊重 4(1)公徳心、規則の尊重	表現運動 1(5)個性の伸長 基本の運動(集団行動) 4(1)公徳心、規則の尊重 楽しい運動会 2(3)信頼、友情	基本の運動(てつぼう) 1(2)勤勉、努力	ゲーム(ボートボール) 2(3)友情、信頼 4(1)公徳心、規則の尊重	基本の運動(持久走) 1(2)勤勉、努力 (マットあそび) 1(2)勤勉、努力	基本の運動(なわとり) 1(2)勤勉、努力	(ちからだめし) 2(3)友情、信頼	ゲーム(サッカーゲーム) 2(3)友情、信頼 4(1)公徳心、規則の尊重			
地域・家庭との連携 その他		家庭訪問 参観日、懇談会 各種たより(年間)	地区懇談会	自由参観日	個人懇談会	参観日(人権)	地域参観日 〇〇愛あいフェスティバル	個人懇談会	自由参観日	参観日(6年)	参観日・懇談会 PTA広報紙		

赤下線部
学年の重点目標と関連の深い内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
キーワード	まなびづくり	なかまづくり	仕事に励む	思いやりの心を知る		心と身体づくり	人のすばらしさを知る	自分を見つめ直す	自分らしさを追求する	感謝の心をもつ		
道徳	自分を変えてみませんか(望ましい生活習慣) 母の魔法(家族愛) 樹齢七千年の杉(自然愛護)	あいさつはことばのスキンシップ(礼儀) 規則があなたを守る(秩序と規律) かっぴん(秩序と規律)	心の種(強い意志) ボランティアから学んだこと(勤労の尊さ) 智也が調べたこと(公徳心・社会連帯) ち水大作戦(公徳心・社会連帯)	地図のある手紙(思いやり) 「いき」な江戸しぐさ(礼儀)		お嬢ちゃんのみそ汁(望ましい生活習慣) できること、できないこと、そして接し方(集団生活の向上) わがふるさとを守る生徒会(郷土愛) 本験ナースをとおして(生命尊重)	ある車中でのこと(思いやり) ライバル(友情) マザーテレサのサポート(謙虚、寛容の心) 恋する涙(健全な異性観)	あふれる愛(国際理解) ガンジー(公正・公平) 足袋の季節(人間の気高さ) ステンドグラスの輝き(愛校心)	「自分」ってなんだ(個性の伸長) 「自分」ってなんだ(個性の伸長) 「自分」ってなんだ(個性の伸長) 「自分」ってなんだ(個性の伸長) 「自分」ってなんだ(個性の伸長)	自立を助けた手紙(誠実・責任) 悲願のりんご(理想の実現) 小さな勇氣こそ(希望)	包む(愛国心) 最後のパートナー(生命尊重) 夜のくだもの屋(感謝)	きいちゃん(家族愛) ゆうへ～生きていてくれてありがとう(生命尊重)
国語	言葉の力(思いやり)						扇的(望ましい生活習慣)	モアイは語るー地球の未来(自然愛護)		走れメロス(強い意志)(友情)	補助犬とともに(公正・公平)	
社会	中国について調べよう(国際理解)	アメリカについて調べよう(国際理解)	ドイツについて調べよう(国際理解)	新しい価値観のもとで(公正・公平) 国会開設の歩み(公正・公平)		アジアの日本から世界の日本へ(生命尊重)(愛国心) 世界情勢と大正デモクラシー(生命尊重)(愛国心)	世界と日本の自然環境(愛国心)	世界と日本の生活と文化(愛国心)	日本がアジアで行った戦争(生命尊重)(愛国心)	戦後日本の成長と国際関係(愛国心) これからの日本と世界(愛国心)	世界と日本の資源と産業(愛国心)	
数学	式の計算(秩序と規律)						一次関数の利用(自然愛護)	図形の調べ方(役割と責任の自覚)			確率(生命尊重)	
理科				動物のくらしなま(生命尊重)				天気の変化(自然愛護)				
音楽	合唱「夢の世界を」 「翼をください」(望ましい生活習慣)	鑑賞「歌劇・アイダ」(他から学ぶ)		合唱「時の旅人」(他から学ぶ)(集団生活の向上)		合唱「時の旅人」(強い意志)(他から学ぶ)(集団生活の向上)		鑑賞「交響曲第5番」(強い意志)(他から学ぶ)(生命尊重)	日本の歌「荒城の月」「浜辺の歌」「ふるさと」(愛国心)	日本の伝統芸能「歌舞伎・勸進帳」(愛国心)		合唱「大地讃頌」(他から学ぶ)(集団生活の向上)
美術	オリエンテーション(望ましい生活習慣)	鑑賞「アダンの木」(自然愛護)(国際理解)				鑑賞「夏休みの課題発表」(他から学ぶ)(集団生活の向上)					鑑賞「日本絵画の造形美」「北斎と遠近法」(国際理解)	
保健体育	集団行動(望ましい生活習慣)	ソフトテニス(公正・公平)	鉄棒(誠実・責任)	水泳(強い意志) 健康と環境(生命尊重)		バレーボール(友情)(集団生活の向上)	武道・ダンス(愛国心)(礼儀)	傷害の防止(秩序と規律)		体づくり運動(望ましい生活習慣) 陸上競技(強い意志)	球技(友情)	
技術	パソコンの基礎(望ましい生活習慣)(公徳心)	文書の作成(勤労の尊さ)	文書の飾り・表現法(勤労の尊さ)	プレゼンとは(勤労の尊さ)		表現する力(勤労の尊さ)	私たちの生活と制御(勤労の尊さ)	制御の実際(勤労の尊さ)	表計算のしくみ(勤労の尊さ)	表計算と私たちの実生活(勤労の尊さ)		
家庭	衣服のはたらき(礼儀)	衣服の選び方(個性の伸長)		衣服の再利用(自然愛護)		日本の住まいと住み方(愛国心)			よりよい住まいと住み方(理想の実現)		よりよい家族関係を考えよう(思いやり)(家族愛)	
英語		Emi Goes Abroad(国際理解)	E-pals in Asia(国際理解)			Homestay in the United States(国際理解)	A Park or a Parking Area?(公徳心)		Try to Be the Only One(人間の気高さ)			
総合的な学習の時間	自然教室に向けて(自然愛護)(秩序と規律)	進路学習(個性の伸長)	進路学習(個性の伸長)	職場体験学習に向けて(勤労の尊さ)	職場体験学習に向けて(勤労の尊さ)	職場体験学習に向けて(勤労の尊さ)	文化祭に向けて(他から学ぶ)(愛校心)			修学旅行に向けて(友情)(愛国心)	修学旅行に向けて(友情)(愛校心)	修学旅行に向けて(友情)(愛校心)
学校行事(生徒会活動)		自然教室(自然愛護)(秩序と規律)	生徒総会(集団生活の向上)	クラスマッチ(友情)		体育祭(強い意志)(愛校心) 職場体験学習(勤労の尊さ)		文化祭(他から学ぶ)(愛校心)	生徒会役員選挙(集団生活の向上)(愛校心)		卒業式(感謝)	
学級活動				体育祭に向けて(強い意志)(愛校心)		文化祭に向けて(他から学ぶ)(愛校心)	文化祭に向けて(他から学ぶ)(愛校心)					
家庭や地域との連携	入学式(個性の伸長) 家庭訪問(家族愛)	PTA総会(愛校心)		保護者会(個性の伸長)		体育祭(強い意志)(愛校心) 敬老会(郷土愛)		文化祭(他から学ぶ)(愛校心)	保護者会(個性の伸長)		卒業式(感謝) 保護者会(個性の伸長)	

キーワードと関連の深い単元や
題材を太字で記入

生活目標をキーワードとして明記

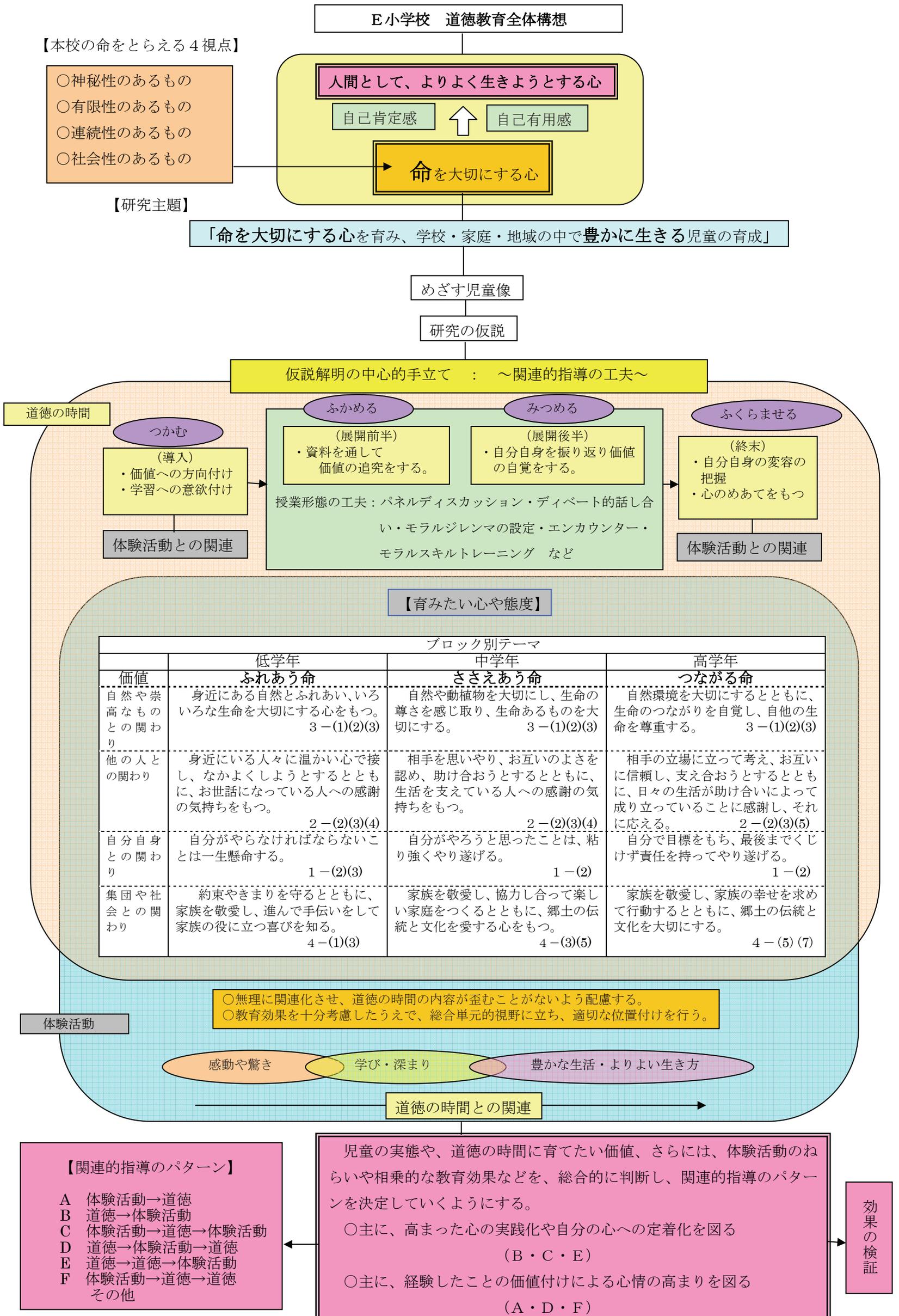
資料 4

教科・領域における道徳的ねらい 6年

D小学校

時期	教科等	教材	道徳教育からみたねらい	関連価値	備考
4月	国語	風切るつばさ	・友情の大切さに気付き、互いの信頼関係を深める。	2－(3)	◎自分にとってのクルル、カララは考えやすかったようである。
			・自分にとってのクルルやカララは誰かを考えさせる。		
	社会	日本の歴史	・日本の成り立ちを理解し、現在の日本に至るまでの先人たちの功績や努力に気付く。	4－(7)	○今の社会がある意味を学ぶことが歴史を学習する意味として教えたが、子どもにとっては抽象的すぎた。
			・日本の歴史の学習を通して日本人としての自覚を高める。	4－(8)	
			・今の生活で最も感謝すべき事柄は何かを考えさせる。		
	家庭	生活時間を見直してみよう	・日頃の生活時間を振り返り、時間をより有効に使う工夫について考え、実践しようとする態度を養う。	1－(1)	◎比べやすくとめやすかった。気付きも多く出た。
・家族と自分が、自分のために使っている時間を比べさせ、改善点をまとめさせる。			4－(5)		
体育	リレー	・友達と互いに協力し、助け合っていこうとする態度を養う。	2－(3)	◎大体のチームに助け合いは見られたが、一部の児童には困難だった。	
		・等質グループで競争をし、バトンパスの工夫や努力を称賛する。			
学活	6年生の心構え	・最高学年の自覚をもち、学校全体のことを考え、委員会活動やボランティア活動に進んで取り組もうとする態度を養う。	4－(4)	◎両方の視点で話した。年度当初は気持ちが張っているせいか望ましい行動が見られた。	
		・仕事の意味を学校を支えるという視点と自分自身を鍛えるという視点から説話する。	4－(6)		
5月	理科	ヒトや動物の体	・ヒトや動物の体の仕組みを学習することにより生命の不思議さや大切さに気付かせる。	3－(1)	◎子どもの言葉に教師が共感することで雰囲気づくりができた。
			・不思議さ、大切さを感じ取った子どもを称賛する。		
	学活	楽しい修学旅行にしよう	・公共の場における礼儀や適切な行動を考えさせることにより、公德心を高める。	2－(1)	◎楽しむためのルール、マナーは理解しやすかった。行動も改まったと思われる。
・グループの友達と協力し合って行動することにより、互いの信頼関係を深める。			2－(3)		
			・ルール、マナーをみんなで楽しい旅行をするための必要なものとして理解させる。		

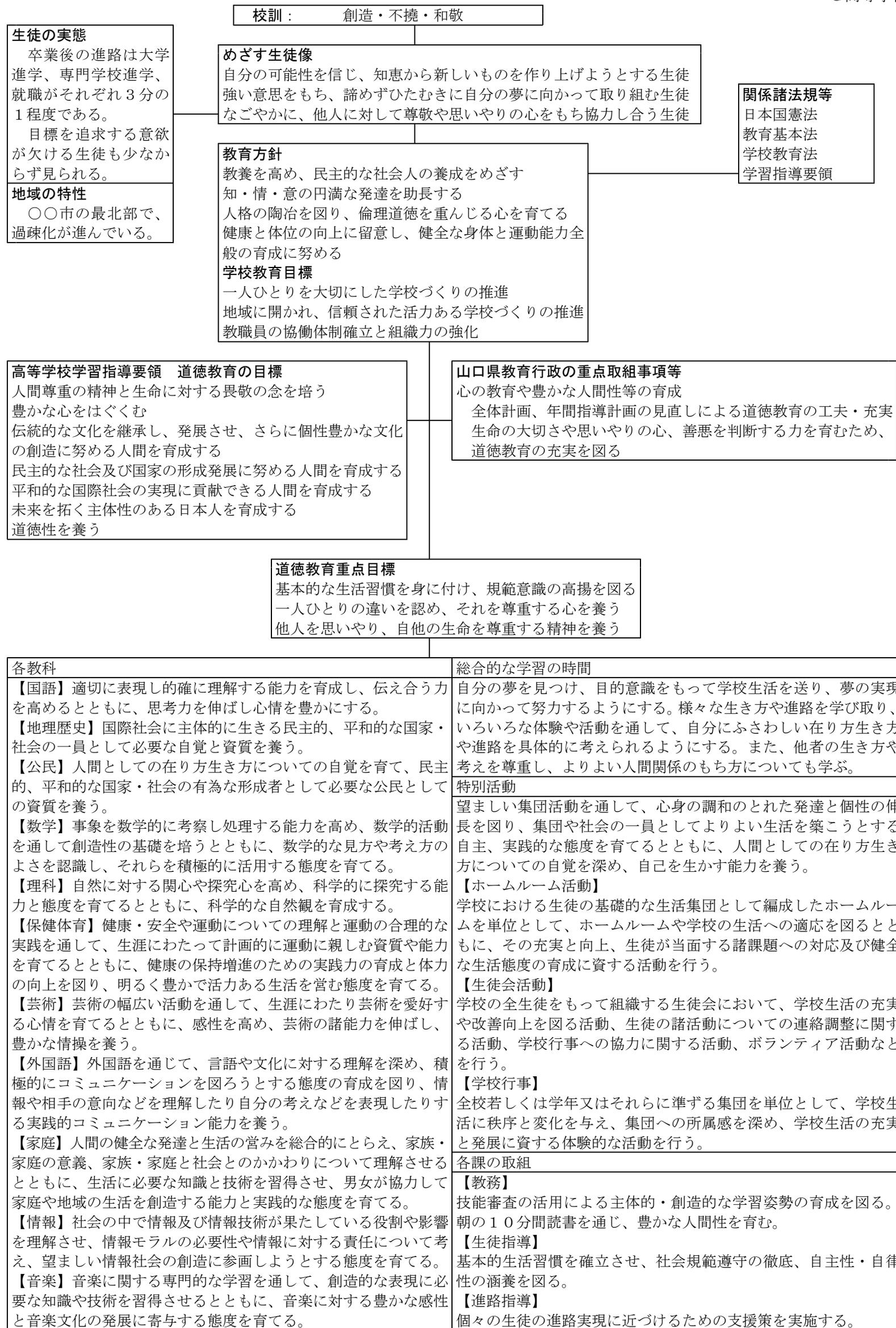
時期	教科等	教材	道徳教育からみたねらい	関連価値	備考
5月	学活	生命の尊重	・ここまで成長してきた過程を振り返り、家族の思いを考えるとともに自他の生命の大切さに気付く。	3－(1)	×家族の思いを聞いて考えることが十分にできなかった。
			・歴史的、科学的、社会的視点とともに家族の思いを知らせる。		
	家庭	ごはんをみそしるをつくろう	・食事の準備について学習することにより、家族のために家庭で調理を实践しようとする態度を養う。	4－(5)	○感想の中に家族への思いを表現する児童はいたが、家庭での調理と比べさせるだけでは不十分だった。
			・振り返りの中に、家の調理の仕方と比べさせたり、毎日続けることの大変さを想像させたりする。		
6月	国語	イースター島にはなぜ森林がないのか	・イースター島の環境破壊が人間の手によるものであることを読み取り、自然環境を守っていくためにできることを考える。	3－(2)	×筆者の主張が難しくなかなか生活と結び付けられなかったようである。
			・筆者の主張と自分の生活とを比べ、自分のできる環境保全についてまとめさせる。		
	国語	日本の文字に関心をもとう	・ひらがなの成り立ちを学習することを通して、先人の工夫に気付かせ、日本の文化を大切にしようとする態度を養う。 ・日本語の表記の素晴らしさとそれに至る工夫を知らせ、文字を利用する時の心構えを表現させる。	4－(7)	○子どもたちは興味をもっていたが、利用するときの心構えは子どもの心からはかけ離れていたようだ。
理科	生物とかんきょう	・生物の成り立ちは植物がもとになっていることを知り、生命の連続性を考える。 ・植物を大切にすることが環境の保全につながることを理解する。	3－(1) 3－(2)	○食物連鎖の一つとして自分の存在を理解させようと話したことにより、興味をもったようだ。 ×砂漠化についてはふれていない。	
		・自分の存在を生命の連続性の視点で捉えさせる。 ・砂漠化とその対応の現状を知らせ、自分のできることをまとめさせる。			
音楽	世界の音楽に親しもう	・世界には多くの国があり、民族性から多様な音楽が生まれていることを知ることに より、異文化も大切にすることを育てる。	4－(8)	○活動に意欲的に取り組み、異文化の存在を理解することができた。	
		・心に残った音楽、好きな音楽等を発表させ、様々な感じ方を知らせる。			
総合	外国の人と話をしよう	・英語活動に親しむことにより、異文化を大切にしようとする態度を育てる。	4－(8)	○様々な国の習慣について少し抵抗があったものの興味をもって受け入れることができていた。	
		・言葉とともに様々な習慣についてふれ、それぞれの国にはその国にあった習慣があることを理解させる。			



- 1 やらなければならないことは、しっかりと行う態度を育てる。
- 2 友だちや身近な人、高齢者に温かい心で接し、親切にしようとする態度を育てる。
- 3 人や自然とふれあう中で、生きることの喜びを実感し、生命を大切にしようとする心情を育てる。
- 4 働くことよさを感じて、みんなのために働く態度を育てる。

月時	〔主題名〕 資料名	ね ら い	学習活動と主な発問	心のノート関連	道徳教育にかかわる指導の内容及び時期
4月 ③	〔自分で きちんと〕 1 じぶんで オッケー	1- (1) 節度ある生活態度 ○自分でできることは自分でやり、希望をもって生活しようとする態度を養う。	1 2年生になった喜びについて話し合う。 2 「じぶんで オッケー」を読んで話し合う。 ○みちえさんの言葉に、とも子はどうしてどきっとしたのでしょうか。 ◎とも子は次の日、どんな気持ちから「自分でオッケー」と言ったのでしょうか。 3 自分たちの生活について考え、話し合う。 ○2年生になって立てた目標を、どう頑張っていますか。 4 教師の説話を聞く。	p. 14-15 まい日を気もちよく	〔特活〕 始業式・入学式 4- (4) 愛校心 2- (1) 礼儀 〔特活〕 係をきめよう 4- (2) 協力・協働 4- (4) 愛校心 1- (2) 勤勉努力 〔特活〕 身体測定 3- (1) 生命尊重
	〔学級の仕事〕 8 三くみ 大すき	4- (4) 愛校心 ○学級生活を自分たちの力で楽しくしようとする態度を培う。	1 学級での生活について話し合う。 2 「三くみ 大すき」を読んで話し合う。 ◎クラスの歌をつくっているときの二人は、どんな気持ちだったでしょうか。 3 自分たちのクラスについて考える。 ○わたしたちのクラスのよいところは、どんなところですか。どんなクラスにしていきたいですか。 4 教師の説話を聞く。		〔国語〕 のはらのシーソー 2- (3) 友情 4- (3) 家庭愛 〔生活〕 はるがいっぱい 3- (2) 自然愛、動植物愛護 〔算数〕 一日のせいかつ 1- (1) 節度ある生活態度 〔音楽〕 歌で友だちの輪を 2- (3) 友情 4- (5) 郷土愛 〔図画工作〕 すきなことなめに 1- (4) 明朗誠実 〔体育〕 走の運動遊び 1- (2) 勤勉努力
	〔気持ちのよいあいさつ〕 3 うれしい 気持ち	2- (1) 礼儀 ○気持ちのよいあいさつや返事をしようとする態度を養う。	1 あいさつがしっかりとできているか話し合う。 2 「うれしい 気持ち」を読んで話し合う。 ○1年生のとき、なおみはどうしてお礼が言えなかったのでしょうか。 ◎お礼がしっかりとできたとき、なおみはどんな気持ちだったでしょうか。 ○気持ちのよいあいさつをすることは、どうして大切なのでしょうか。 3 日常生活の中での気持ちよいあいさつの体験談を聞く。	p. 32 あいさつは心のリボン	〔特活〕 1年生を迎える会 4- (4) 愛校心 2- (2) 思いやり、親切 〔特活〕 春の遠足 4- (4) 愛校心 2- (2) 思いやり、親切 4- (1) 公德心、規則の尊重
5月 ③	〔正直な行い〕 4 金のおの	1- (4) 正直誠実、明朗 ○うそをついたり、ごまかしをしたりしないで、明るく生活しようとする心情を育てる。	1 正直に言ってよかったと思った経験を発表する。 2 「金のおの」を読んで話し合う。 ◎初めのきこりは、金のおのや銀のおのが欲しくなかったのでしょうか。 ○神様は、二人のきこりのことをどう思っているのでしょうか。 3 自分たちの日常の生活について考える。 ○うそやごまかしを言ってしまったときの気持ちはどうでしょうか。 4 正直に行動してよかったという教師の体験を聞く。	p. 26-27 あかるい気持ち	

月時	〔主題名〕 資料名	ね ら い	学習活動と主な発問	心のノート関連	道徳教育にかかわる指導の 内容及び時期
5 月	〔温かい やさしさ〕 5 くまくんの たからもの	2－(2) 思いやり、親切 ○ 人や友だちに温かい心 で接し、思いやりの心をも って親切にしようとする心 情を育てる。	1 自分の 物について発表する。 2 「くまくんの たからもの」を読んで話し合う。 ○かばんが 物でいっぱいになったとき、くま はどんな気持ちだった でしょう。 ◎かばんにねずみ が入れば両手で登れることに気づいたとき、くま はどんなことを考えたでしょう。 3 親切(思いやり)について考え、話し合う。 4 教師の説話を聞く。	p. 3 -3 あたたかい こ ころで	〔生活〕 まちのたんけん 4－(1) 公德心、規則の 尊重 4－(5) 郷土愛
	③ 〔進んで きれいに〕 2 こうえんの花	4－(1) 公德心 規則の尊重 ○みんなで使うものや場所を 大切にし、人に をかけ ないようにしようとする態 度を養う。	1 公共物や公共施設について話し合う。 2 「こうえんの 花」を読んで話し合う。 ○だれが、公 を したのでしょうか。 ◎ひろしは、どんな気持ちでごみを ったのでしょうか。 ○お父さんは、どんな気持ちから「せっかく いている花がかわいそう だ」と言ったのでしょうか。 3 みんなのものや場所は、どんな気持ちで使ったらよいか話し合う。 4 実践につなげる教師の説話を聞く。		〔特活〕 クリーン作戦 4－(1) 公德心、規則の 尊重 4－(2) 勤労
6 月	〔動植物にもやさ しい心で〕 7 こうえんの 見はりばん	3－(2) 自然愛、動植物愛護 ○自然と人間とのかかわりを 知り、動植物にやさしい心 で接しようとする心情を育 てる。	1 自然に生きている動物を見つけたときの経験を話し合う。 2 「こうえんの 見はりばん」を読んで話し合う。 ○おじいさんの話を聞いたかずやは、どんな気持ちになりましたか。 ◎大きな紙に「つばめのすがあります。……」と書いて、すべり にぶ ら下げたかずやは、どんな気持ちでしたか。 3 自然の中の動植物を大切にしたりやさしい心で接したりした経験を話 し合う。 4 教師の説話を聞く。	p. 54-55 しぜんとなかよ く	〔生活〕 やさいをそだてよう 3－(2) 自然愛、動植物 愛護 〔生活〕 生きものをかおう 3－(2) 自然愛、動植物 愛護 1－(2) 勤勉 〔国語〕 たん 3－(2) 自然愛、動植物 愛護
	〔健康を守る〕 6 かむかむ メニュー	1－(1) 節度ある生活態度 ○健康に気をつけることの大切 さを知り、よりよい生活 をしようとする心情を育て る。	1 自分が食事をしているときの様子について話し合う。 2 「かむかむメニュー」を読んで話し合う。 ◎かずくんは、夢を見ているとき、どんなことを考えていたでしょう か。 ○先生にほめられて、かずくんは、どんな気持ちになったでしょう か。 3 体によいことについて話し合う。 4 教師の話聞く。		〔国語〕 の日のおさん 3－(2) 自然愛、動植物 愛護 4－(3) 家庭愛 〔算数〕 大きい数 4－(1) 公德心、規則の 尊重
	④ 〔正しいことを思 いきって〕 9 わすれられな いえがお	1－(3) 善悪の判断、勇気 ○正しいと思ったことは、お それないで、勇気をもって 行おうとする心情を育て る。	1 正しいと思っていてもなかなかできなかったことなど、自分の生活を 振り返り、そのときの気持ちについて発表し合う。 2 「わすれられない いえがお」を読んで話し合う。 ◎もう一度おばさんの を見たとき、せいこはどんなことを考えていた でしょう。 ○おばさんの がすてきな になったとき、せいこはどう思ったでし ょう。 3 「正しいことを思いきってやってよかった」と思ったことについて話 し合う。 4 教師の話聞く。	p. 24-25 ゆう気を出して	〔特活〕 やさいのはたらきを知 ろう 1－(1) 節度ある生活態 度 〔体育〕 ボール遊び・水遊び 2－(3) 友情 4－(1) 公德心、規則の 尊重 3－(1) 生命尊重



校訓： 創造・不撓・和敬

生徒の実態
卒業後の進路は大学進学、専門学校進学、就職がそれぞれ3分の1程度である。目標を追求する意欲が欠ける生徒も少なからず見られる。

地域の特性
〇〇市の最北部で、過疎化が進んでいる。

めざす生徒像
自分の可能性を信じ、知恵から新しいものを作り上げようとする生徒
強い意思をもち、諦めずひたむきに自分の夢に向かって取り組む生徒
なごやかに、他人に対して尊敬や思いやりの心をもち協力し合う生徒

関係諸法規等
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

教育方針
教養を高め、民主的な社会人の養成をめざす
知・情・意の円満な発達を助長する
人格の陶冶を図り、倫理道徳を重んじる心を育てる
健康と体位の向上に留意し、健全な身体と運動能力全般の育成に努める
学校教育目標
一人ひとりを大切にしたい学校づくりの推進
地域に開かれ、信頼された活力ある学校づくりの推進
教職員の協働体制確立と組織力の強化

高等学校学習指導要領 道徳教育の目標
人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培う
豊かな心をはぐくむ
伝統的な文化を継承し、発展させ、さらに個性豊かな文化の創造に努める人間を育成する
民主的な社会及び国家の形成発展に努める人間を育成する
平和的な国際社会の実現に貢献できる人間を育成する
未来を拓く主体性のある日本人を育成する
道徳性を養う

山口県教育行政の重点取組事項等
心の教育や豊かな人間性等の育成
全体計画、年間指導計画の見直しによる道徳教育の工夫・充実
生命の大切さや思いやりの心、善悪を判断する力を育むため、道徳教育の充実を図る

道徳教育重点目標
基本的な生活習慣を身に付け、規範意識の高揚を図る
一人ひとりの違いを認め、それを尊重する心を養う
他人を思いやり、自他の生命を尊重する精神を養う

各教科	総合的な学習の時間
<p>【国語】適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにする。</p> <p>【地理歴史】国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。</p> <p>【公民】人間としての在り方生き方についての自覚を育て、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。</p> <p>【数学】事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</p> <p>【理科】自然に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てるとともに、科学的な自然観を育成する。</p> <p>【保健体育】健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。</p> <p>【芸術】芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。</p> <p>【外国語】外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力を養う。</p> <p>【家庭】人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>【情報】社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を育てる。</p> <p>【音楽】音楽に関する専門的な学習を通して、創造的な表現に必要な知識や技術を習得させるとともに、音楽に対する豊かな感性と音楽文化の発展に寄与する態度を育てる。</p>	<p>自分の夢を見つけ、目的意識をもって学校生活を送り、夢の実現に向かって努力するようにする。様々な生き方や進路を学び取り、いろいろな体験や活動を通して、自分にふさわしい在り方生き方や進路を具体的に考えられるようにする。また、他者の生き方や考えを尊重し、よりよい人間関係のもち方についても学ぶ。</p> <p>特別活動 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。</p> <p>【ホームルーム活動】 学校における生徒の基礎的な生活集団として編成したホームルームを単位として、ホームルームや学校の生活への適応を図るとともに、その充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行う。</p> <p>【生徒会活動】 学校の全生徒をもって組織する生徒会において、学校生活の充実や改善向上を図る活動、生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動、学校行事への協力に関する活動、ボランティア活動などを行う。</p> <p>【学校行事】 全校若しくは学年又はそれらに準ずる集団を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。</p> <p>各課の取組 【教務】 技能審査の活用による主体的・創造的な学習姿勢の育成を図る。朝の10分間読書を通じ、豊かな人間性を育む。</p> <p>【生徒指導】 基本的な生活習慣を確立させ、社会規範遵守の徹底、自主性・自律性の涵養を図る。</p> <p>【進路指導】 個々の生徒の進路実現に近づけるための支援策を実施する。</p>

作成協力校

道德教育実践研究事業推進校

【平成20・21年度】

岩国市立米川小学校
周防大島町立明新小学校
下松市立下松小学校
山口市立宮野小学校
下関市立吉見小学校
山口県立広瀬高等学校・山口県立岩国高等学校広瀬分校

【平成21・22年度】

山陽小野田市立厚狭小学校
萩市立育英小学校
周防大島町立大島中学校
平生町立平生中学校
光市立光井中学校
美祢市立厚保中学校

資料提供校

和木町立和木小学校
田布施町立田布施西小学校
山口市立嘉年小学校
宇部市立原小学校
長門市立通小学校
和木町立和木中学校
上関町立上関中学校
山口市立大殿中学校
阿武町立阿武中学校
山口県立周南総合支援学校
山口県立豊浦総合支援学校
山口県立下関南総合支援学校